

# 健康福祉委員会資料

(消防局関係)

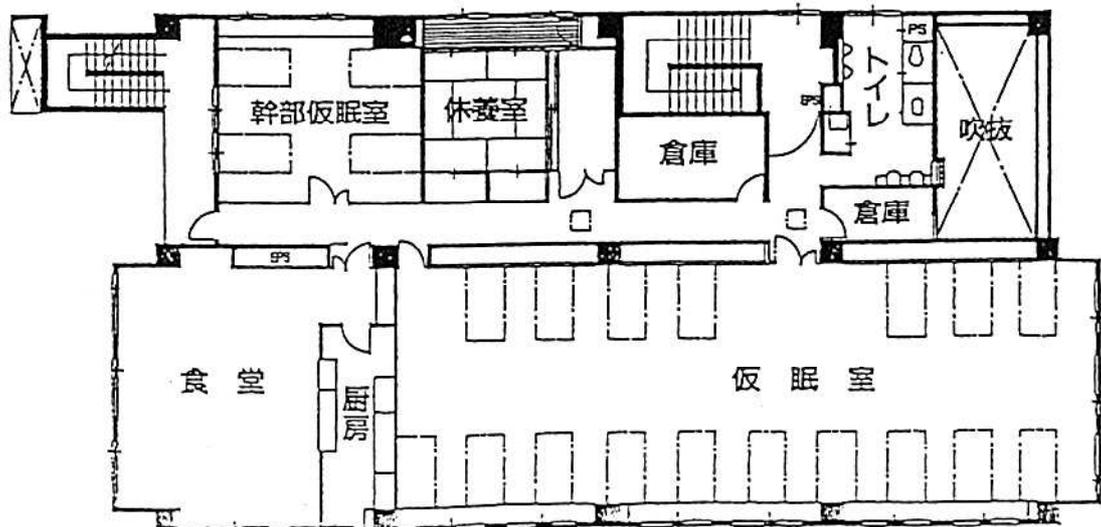
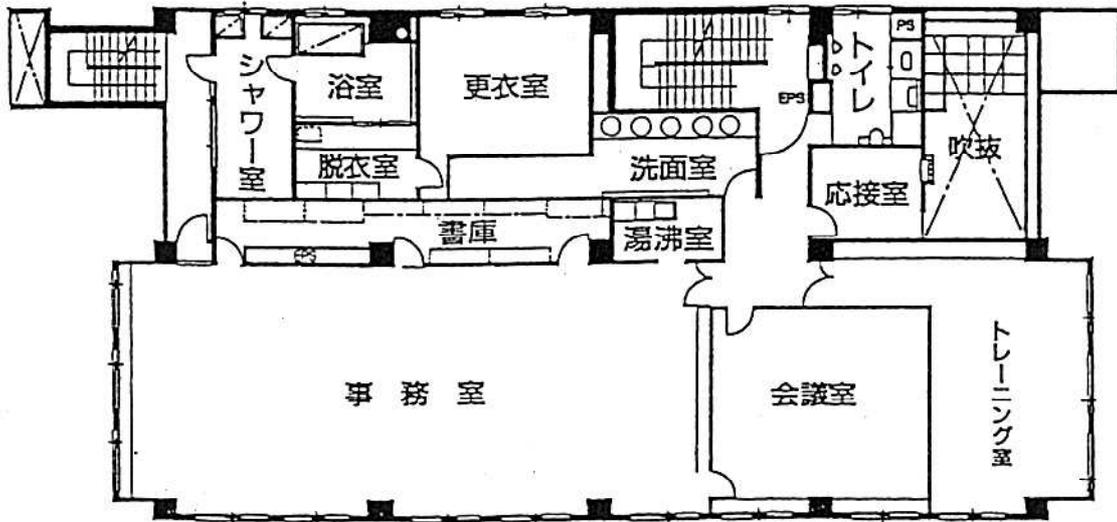
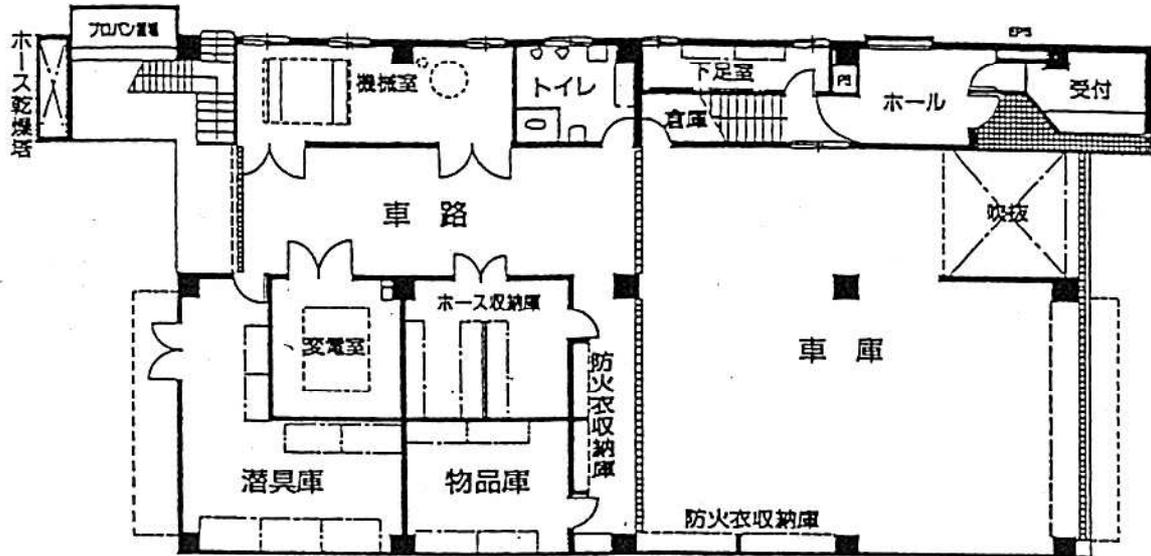
## 1 所管事務の調査（視察）

### (1) 消防艇について

## 臨港消防署千鳥町出張所の概要

- 1 所在地 川崎区千鳥町15-4
- 2 敷地面積 1,2667.99㎡
- 3 建物構造規模等
  - (1) 事務所  
鉄筋コンクリート造3階建て 建築面積 400.98㎡  
延べ面積 1,130.24㎡
  - (2) 警防倉庫 18.40㎡
  - (3) オイルフェンス庫 15.18㎡
- 4 特殊設備
  - (1) 船舶給油取扱所(地下タンク・軽油3,800L)
  - (2) ビルジ水回収施設(1,800L)
- 5 配置人員 22人
- 6 配置車両等
  - (1) 化学車 1台
  - (2) 大型高所放水車 1台
  - (3) 消防艇 2艇
- 7 主な装備品等
  - (1) オイルフェンス (20m×16個) 320m
  - (2) 泡消火薬剤
    - ア フッ化たん白消火薬剤 4,700L
    - イ 合成界面活性剤 4,000L
  - (3) 流出油処理剤
    - ア 液状 2,000L
    - イ 粉末 7kg
    - ウ 吸着マット 375枚
  - (4) 水中スクーター 4基

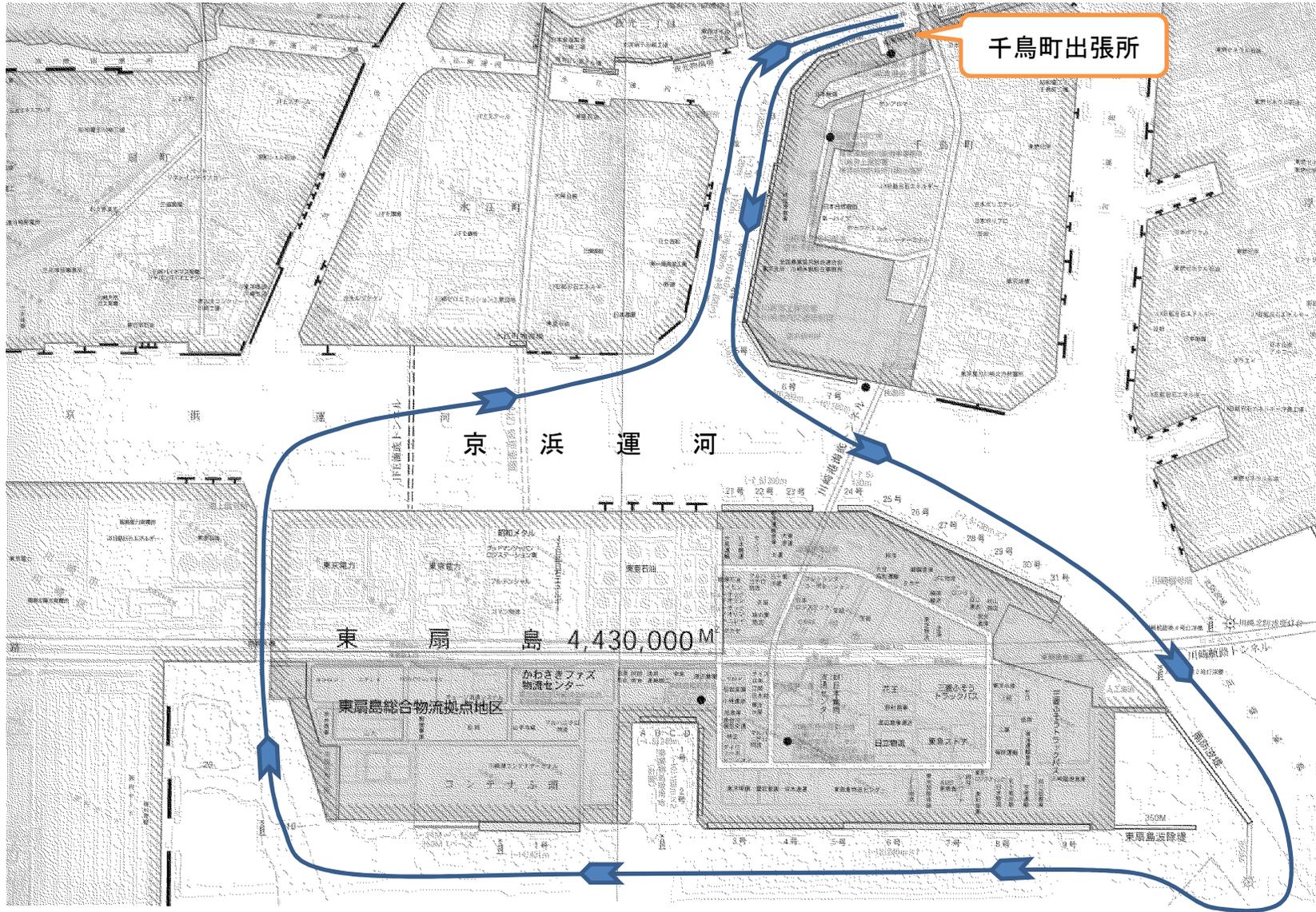
# 千鳥町消防出張所平面図



## 消防艇諸元一覧表

船名	第5川崎丸	第6川崎丸
船質	鋼	鋼
竣工年月	平成2年3月	平成5年3月
総トン数	36.00トン	39.00トン
全長	22.00メートル	20.30メートル
全幅	5.20メートル	5.20メートル
深さ	2.20メートル	2.43メートル
航行区域	平水区域	平水区域
速力及び航続時間	巡航 17.5ノット (約32.5km/h) 8時間以上	巡航 16ノット (約29.6km/h) 8時間以上
最大とう載人員	船員5名 その他18名 (航行予定時間1.5時間未満)	船員5名 その他15名 (航行予定時間1.5時間未満)
主機関	2サイクル高速ディーゼル 中央機1基 両舷機2基	2サイクル高速ディーゼル 中央機1基 両舷機2基
補機関	4サイクル高速ディーゼル 1基	4サイクル高速ディーゼル 1基
推進器	中央 可変ピッチプロペラ 1基 両舷 固定ピッチプロペラ 2基	中央 固定ピッチプロペラ 1基 両舷 可変ピッチプロペラ 2基
燃料タンク	1,700リットル×2	1,700リットル×2
泡原液タンク	2,000リットル×2	1,750リットル×2
油処理剤タンク	1,000リットル×1	1,000リットル×1
消防ポンプ	11,000リットル/分 2基 最大放水量 22,000リットル/分	11,000リットル/分 2基 最大放水量 22,000リットル/分
設計	(財)日本造船技術センター	(財)日本造船技術センター
建造造船所	横浜ヨット株式会社	横浜ヨット株式会社
建造費	276,130千円	350,200千円

# 海上視察経路



石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所一覽

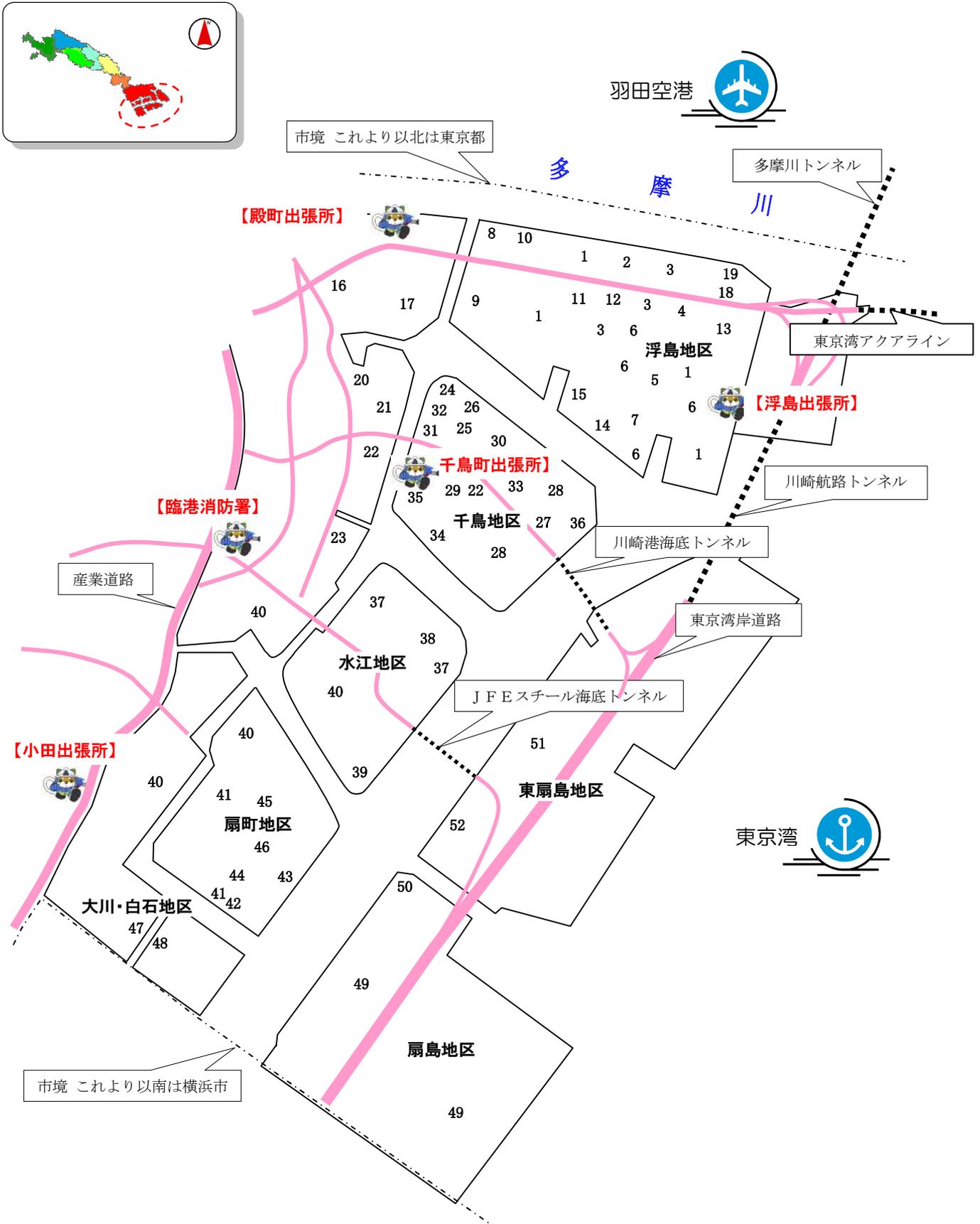
(平成25年4月1日現在)

地区別	番号	種別	事業所名	地区別	番号	種別	事業所名
浮島	1	①	東燃ゼネラル石油(株)川崎工場 (東燃化学合同会社 川崎工場を 含む)	千島	27	1	東京油槽 (株)
	2	①	日本ユニカー (株) 川崎工業所		28	1	川崎ターミナル(株)千島事業所
	3	①	セントラル硝子 (株) 川崎工場		29	①	(株)日本触媒川崎製造所千島工場
	4	①	日本ブチル (株)		30	①	日本ポリエチレン (株) 川崎工場 (千島地区) (日本ポリプロ (株) 川崎工場・東燃化学(株)千島工 場を含む)
	5	①	日本合成アルコール (株) 川崎工場		31	2	日本乳化剤 (株) 川崎工場
	6	①	J X 日鉱日石エネルギー(株)川崎製造所浮島 地区 (日本ポリエチレン (株) 川崎工場 (浮島 地区)、ENEOS グローブ(株)を含む)		32	2	川崎化成工業 (株) 川崎工場 (千島)
	7	①	(株) 日本触媒川崎製造所浮島工場		33	2	日油 (株) 川崎事業所
	8	2	花王 (株) 川崎工場		34	2	日本合成樹脂(株)
	9	2	(株) 東芝浜川崎工場		35	2	サンケミカル(株)川崎工場
	10	2	日新倉庫 (株) 川崎営業所		36	2	東京電力(株)西火力事業所 川崎火力発電所
	11	2	新日本理化 (株) 川崎工場	水江	37	①	東亜石油 (株) 京浜製油所 (水江地区) ( (株) ジェネックスを含む)
	12	2	東亜合成 (株) 川崎工場		38	①	J X 日鉱日石エネルギー(株) 川崎ガスターミナル
	13	2	興和油化工業 (株) 川崎工場		39	1	出光ルブテクノ (株)
	14	2	日新瓦斯 (株) 川崎事業所		40	2	J F E スチール (株) 東日本製鉄所 (京浜地区) ・川崎地区
	15	2	新栄運輸 (株) 川崎化成成品油槽所	扇町	41	①	昭和電工 (株) 川崎事業所
	16	①	川崎オキシトン (株) 川崎工場		42	2	東日本旅客鉄道 (株) 川崎発電所
	17	2	日本冶金工業 (株) 川崎製造所		43	1	J X 日鉱日石エネルギー (株) 川崎事業所
	18	2	ブルーエクスプレス (株) 関東営業部横浜営業所		44	2	昭和電工ガスプロダクツ (株) 川崎工場
	19	2	日本コンセプト (株) 京浜支店		45	2	ペットリファインテクノロジー(株)
20	①	日本ゼオン (株) 川崎工場	46		2	川崎天然ガス発電(株)川崎天然ガス発電所	
千島	21	①	旭化成ケミカルズ (株) 川崎製造所	大川・白石	47	2	三和倉庫 (株) 川崎事業所
	22	①	J X 日鉱日石エネルギー (株) 川崎製造所川崎地区 (日本ポリエチレン (株) 川崎工場 (南地区) ・ 東邦 (株) 川崎工場・サンアロマー (株) 製造本部川崎 工場を含む)		48	2	昭和電工 (株) 川崎事業所 (大川)
	23	1	東西オイルターミナル (株) 川崎油槽所	扇島	49	①	J F E スチール (株) 東日本製鉄所 (京浜地区) ・扇島地区 ( (株) JFEサンソセンター 京浜工場・ JFEケミカル (株) 東日本製造所を含む)
	24	1	三菱化学物流 (株) 川崎油槽所		50	1	東亜石油(株)京浜製油所 (扇島地区)
	25	1	日本ヴォパック (株) 川崎事業所	東扇島	51	1	東亜石油(株)京浜製油所 (東扇島地区)
	26	①	昭和電工 (株) 川崎事業所 (千島)		52	2	東京電力 (株) 西火力事業所 東扇島火力発電所

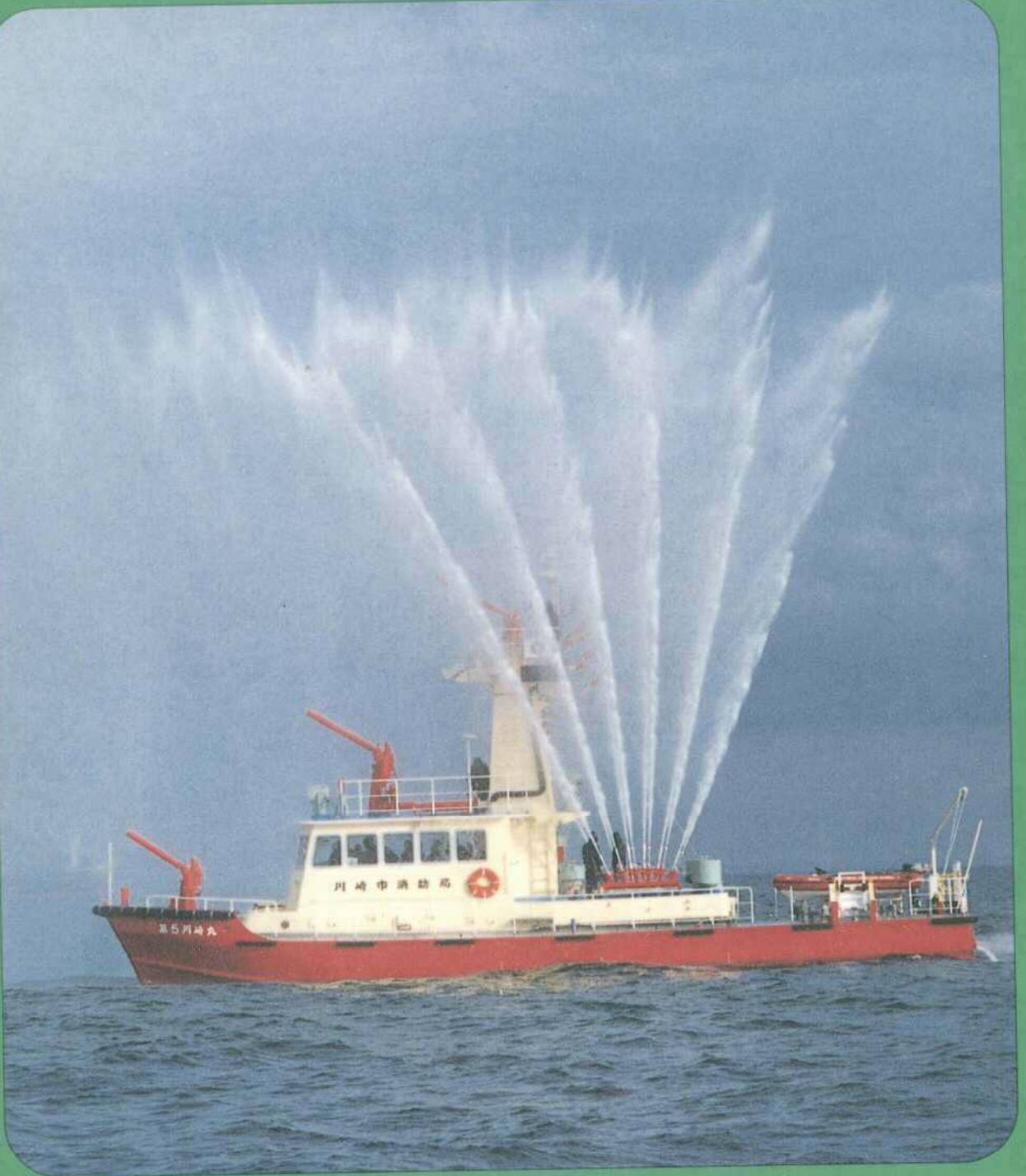
特定事業所 52事業所【第1種事業所】 27 (レイアウト18)【第2種事業所】 25  
(注)種別欄の○付き数字は、レイアウト事業所を示しています。

# 石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所分布図

(平成25年4月1日現在)



平成2年4月



# 消防艇 第5川崎丸

◎川崎市



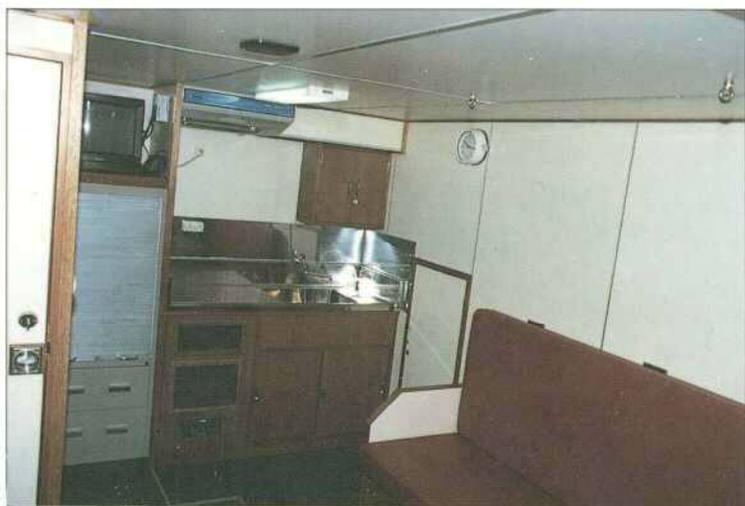
● 操  
舵  
室 ●



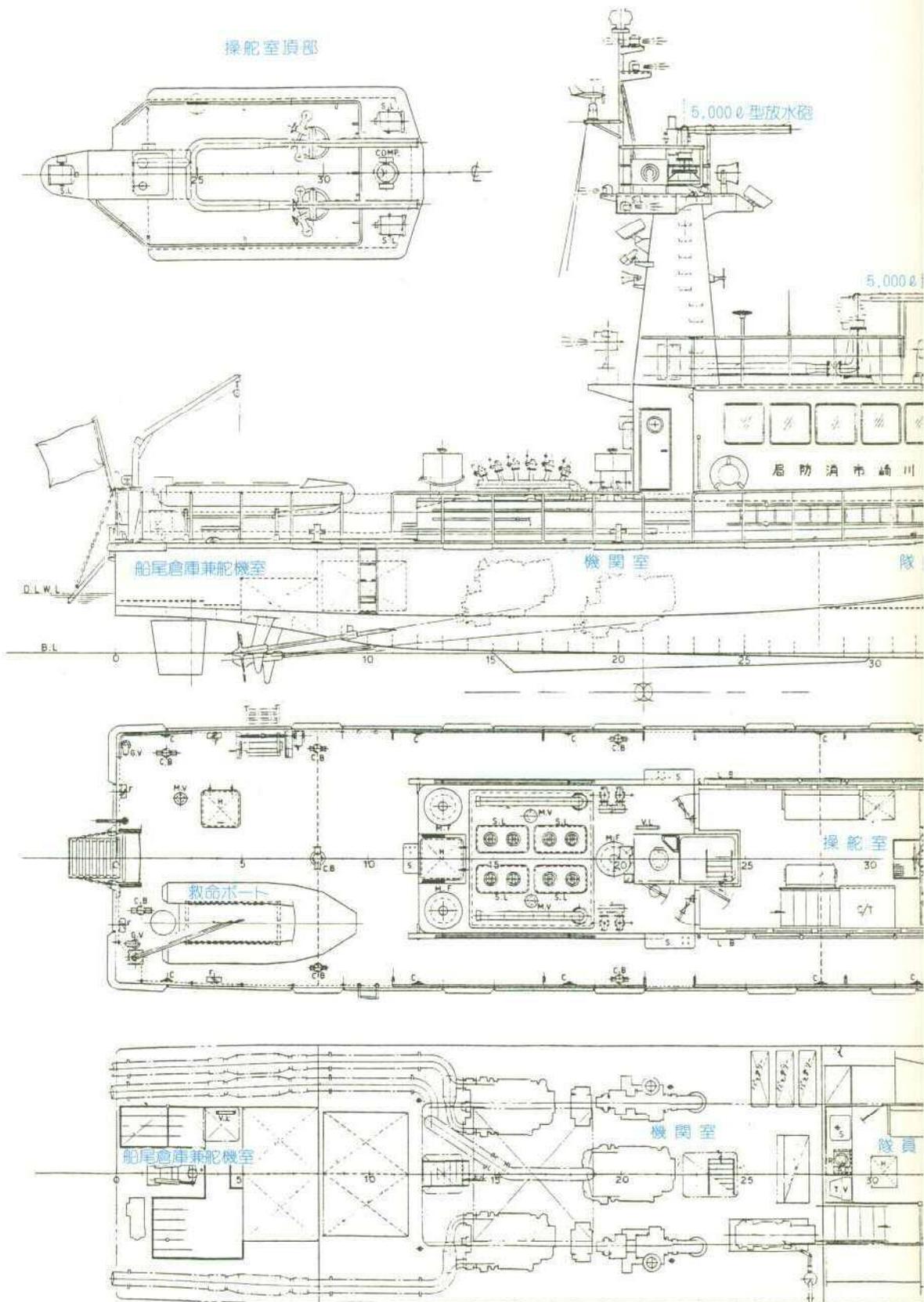
● 機  
関  
室 ●



● 隊  
員  
室 ●

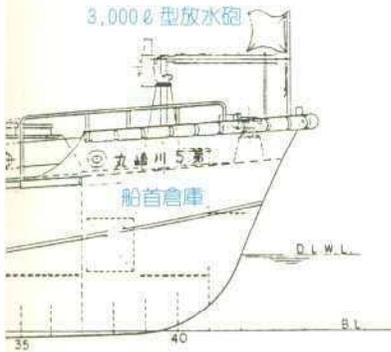


# 配置図

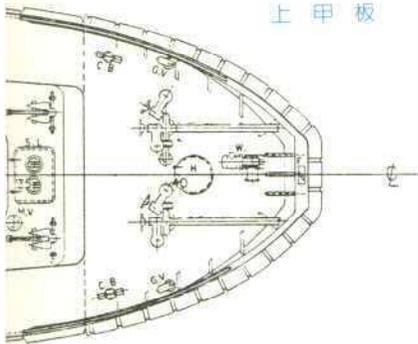


## 主 要 要 目

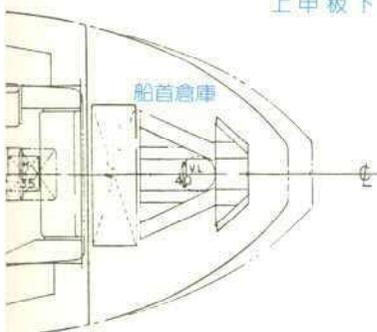
長 さ (全長)	22.00メートル		
〃 (水線長)	21.00メートル		
幅 (型)	5.20メートル		
深 さ (型)	2.20メートル		
計画満載喫水	1.20メートル		
総トン数	36トン		
速 力	巡航	17.5ノット	
	最大	20.2ノット	
主 機 関	高速	ディーゼル機関	
	600PS × 2, 170rpm × 3基		
最大とう載人員	船員	その他	
	航行時間 24 時間未満	5名	8名
	〃 1.5	〃 5名	18名
航行区域	平 水		



上 甲 板



上 甲 板 下



# 要 目

## 1 船 体

全 長	22.00メートル
最大幅	5.20メートル
深 さ	2.20メートル
総トン数	36トン
船 質	耐候性高張力鋼、一部耐食アルミ
船 型	V 型
航行区域	平水区域

### 速力及び航続時間

巡航	17.5ノット(約32.5 km/h)
	8時間以上

### 最大とう載人員

船 員	5名
その他	8名
	(航行予定時間24時間未満)
〃	18名
	(航行予定時間1.5時間未満)

## 2 機 関

### 主機関 (2サイクル高速ディーゼル機関)

中央機	1基
	GM8V-92TA・600PS×2, 170rpm
両舷機	
	GM8V-92TA・600PS×2, 170rpm

### 補機関 (4サイクル高速ディーゼル機関)

定格	39PS×1, 800rpm	1基
----	----------------	----

### 推進器

中央	3翼可変ピッチプロペラ	1基
両舷	3翼固定ピッチプロペラ	2基

### タンク類

燃料タンク	1,700リットル	2個
泡原液タンク	2,000リットル	2個
油処理剤タンク	1,000リットル	1個
雑用清水タンク	300リットル	1個
飲料水タンク	200リットル	1個

## 3 航海設備

操舵機	電動油圧式	1式
電動ウインチ(巻揚荷重 300kg)		1基
音響測深機	0~400m	1式
マリンレーダー		
	約30m~72マイル(115km)	1基

風向風速計		1式
紅色閃光灯		1式
航海灯		1式
発電機	30kVA	1基
冷暖房設備		1式
油水分離機		1基
磁気コンパス(反射型)		1基

## 4 消防装備

### 消防ポンプ

	11,000リットル/分	2基
最大放水量	22,000リットル/分	

### 放水砲

自動(手動)遠隔操作型		
5,000リットル/分(マスト上)		1基
自動(手動)遠隔操作型		
5,000リットル/分(操舵室頂部)		2基
自動(手動)遠隔操作型		
3,000リットル/分(船首上甲板上)		2基

放水口	65ミリ	12口
吸水口(救難用)	90ミリ	4口
自衛噴霧ヘッド		8口

### 照明等

探照灯	1kW	3基
投光器	300W	4個

### 無線機

固定用	10W・6ch実装	1式
携帯用	1W・6ch実装	1式
船内指令装置		1式
船内電話装置		1式

### その他

モニターテレビ(カラー)		2台
救助ボート		
	(全長3.80m×全幅1.62m×深さ0.58m)	
船外機	25PS	1基
電動式救助リフタ		1基
救急救助用資材		1式
潜水用具		2式
救命胴衣		23着
オイルフェンス巻揚装置		1式
ダビッド(吊上げ荷重約200kg)		1基

## 特 長

### \* 活動範囲の拡大

吃水線下を約1.7メートルとし、水深の浅い場所でも活動が可能である。

### \* 機動性の確保

高速ディーゼルエンジンを搭載して、最高速力を約20ノットとし、機動性を確保した。

### \* 高所放水

吃水線上約10メートルの位置に泡放水砲を設置し、大型船舶火災の消火が可能である。

### \* 航行放水

主機関3基を設け、両舷機により消防装置を駆動し、中央機は可変ピッチプロペラを駆動することにより、航行しながら有効な放水が可能である。

### \* 流出油拡散防止

流出油処理剤放射装置の装備により、流出油の拡散防止が可能である。

### \* 救助用資材の装備

小型救助用ボート、電動式救助リフタ及び潜水器具を搭載し、人命救助活動にも有効である。

### \* 救急用資材の装備

救急用資材を搭載し、救急活動にも有効である。

### \* 操作性の向上

操舵室周囲の視野を広くとれるよう配置し、操作性の向上を図った。

### \* 省力化

操舵室内及び機関室内に放水指示盤を装備し、ポンプの駆動、放水主要バルブの開閉、放水砲の角度等の操作が行なえるよう省力化を図った。

起 工	平成元年8月18日	設 計	(財)日本造船技術センター
進 水	平成元年11月28日	施 工	横浜ヨット株式会社
竣 工	平成2年3月2日	消防機器	深田キディ株式会社

発行 川崎市消防局

川崎市川崎区南町20-15 電話044-244-8351(代表)